

介護ロボットの

開発・実用化を支援します！

開発関係者の
皆様へ

介護機器は、利用者の自立支援や介護者の負担軽減を図るために重要なものです。その介護機器にロボット技術を活用した「介護ロボット」によって、介護の質と生産性の向上が期待されています。

ロボット技術の介護利用における重点分野 (平成29年10月改定)

移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り・コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援
<p>装着</p>  <p>ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器</p>	<p>屋外</p>  <p>高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器</p>	<p>排泄物処理</p>  <p>排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ</p>	<p>施設</p>  <p>介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</p>	 <p>ロボット技術を用いて浴槽に入浴する際の一連の動作を支援する機器</p>	 <p>ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器</p>
<p>非装着</p>  <p>ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器</p>	<p>屋内</p>  <p>高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器</p>	<p>トイレ誘導</p>  <p>ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器</p>	<p>在宅</p>  <p>在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</p>		
	<p>装着</p>  <p>高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器</p>	<p>動作支援</p>  <p>ロボット技術を用い、トイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器</p>	<p>生活支援</p>  <p>高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器</p>		

6分野13項目

厚生労働省は、経済産業省とともに「ロボット技術の介護利用における重点分野」を6分野13項目定め、その開発・導入を支援しています。

「介護ロボットの開発・実用化支援策」の詳細は、裏面をご参照ください。

手引き
など
のご案内

(1) 福祉用具・介護ロボット開発の手引きの活用

「福祉用具・介護ロボット開発の手引き」(平成25年度厚生労働省作成)をお読みいただき、開発の各段階での留意点など基本的な知識を確認してください。

(2) 相談窓口と介護ロボットメーカー連絡会議の活用

本事業の一環として下記「相談窓口」の設置や「介護ロボットメーカー連絡会議」を開催していますのでご活用ください。

【相談窓口】
お問合せは
こちらへ

「相談窓口」を設置していますのでご活用ください。

※公益財団法人テクノエイド協会に委託して設置

- 電話による相談 03-3266-6883 または 03-3260-5121
- メールによる相談 robot@techno-aids.or.jp
- 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は休み)



「介護ロボットの開発・実用化支援策」について

I 厚生労働省介護ロボット開発等加速化事業【平成29年度までの実績】

着想
段階

(1) ニーズ・シーズ連携協調のための協議会の設置

開発前の着想段階から介護ロボットの開発の方向性について開発企業と介護現場が協議し、介護現場のニーズを反映した開発の提案内容を取りまとめる協議会を設置する。

【報告書】・介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業支援業務報告書
(平成29年度/平成28年度)



開発
段階

(2) 試作機器の介護現場での実証支援

開発中の試作機器について介護現場での実証支援のほか、介護職員等との意見交換、専門職によるアドバイス支援を実施（平成30年度末現在協力施設数621）

【報告書】・福祉用具・介護ロボットの開発と普及
(2017/2016/2015)
・福祉用具・介護ロボット実用化支援2014
・2012年度介護機器等モニター調査事業



上市
段階

(3) 介護ロボットを活用した介護技術開発支援

介護ロボットを活用した効果的な介護方法の開発を支援

【報告書】・介護ロボット・導入・活用のポイント
・成果概要（平成28年度/平成27年度）



(4) 普及・啓発

①介護ロボットフォーラム：介護ロボットの体験展示、使用方法の説明、導入に関する相談、効果的な活用事例の報告などを実施

②介護ロボット普及モデル事業：介護ロボットの体験展示、試用貸出、使用方法の研修などを実施

(平成29年度全国9拠点：北海道介護実習・普及センター、青森県介護実習・普及センター、岩手県高齢者総合支援センター、茨城県福祉サービス振興会、なごや福祉用具プラザ、兵庫県立福祉のまちづくり研究所、福祉用具プラザ北九州、佐賀県在宅生活サポートセンター、大分県社会福祉介護研修センター)

③介護ロボット試用貸出：介護施設への商品化された介護ロボットの試用貸出を支援



④導入事例集

【報告書】・介護ロボット導入活用事例集2017
・介護ロボット事例集2016
・介護ロボット重点分野別講師養成テキスト
移動支援機器(屋外)/見守り支援機器(介護施設)

【参考】・介護ロボット導入好事例表彰事業受賞案件紹介ガイドブック（平成28年度老人保健健康増進等補助事業）

II 補助金・助成金情報

(1) ロボット介護機器開発・標準化事業（開発補助事業）（経済産業省）

自立支援型ロボット介護機器等の開発を補助（平成30年度補助上限額1億円、平成30年6月12日公募締切）

【参考：高齢者等向けの新たなICTサービスの研究開発支援】情報通信利用促進支援事業費補助金（総務省）

高齢者・障害者のための通信・放送役務の高度化に関するもの、又はこれまでに実施されていない高齢者・障害者のための通信・放送役務に関するもの研究及び開発を行う民間企業等に対して、その研究開発資金の一部を補助（平成30年度補助上限額3,000万円、平成30年4月6日公募締切）

【参考：ものづくり補助金】ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金（中小企業庁）

生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の経費の一部を補助（平成29年度補正予算額1,000億円、一次公募：平成30年4月27日締切、二次公募：時期未定）

III 基準・規格情報

(1) ロボット介護機器開発・導入促進事業（基準策定・評価事業）（経済産業省）

安全評価・効果性能・開発実証試験の基準を策定（介護ロボットポータルサイト（<http://robotcare.jp/>）にて公表予定）

(2) 工業規格（経済産業省）

ISO13482 ロボット及びロボティックデバイスー生活支援ロボットの安全要求事項（国際規格）

JISB8445 ロボット及びロボティックデバイスー生活支援ロボットの安全要求事項

JISB8446-1 生活支援ロボットの安全要求事項ー第1部：マニピュレータを備えない静的安定移動作業型ロボット

JISB8446-2 生活支援ロボットの安全要求事項ー第2部：低出力装着型身体アシストロボット

JISB8446-3 生活支援ロボットの安全要求事項ー第3部：倒立振り制御式搭乗型ロボット

JISB8456-1 生活支援ロボットー第1部：腰補助用装着型身体アシストロボット

IV 民間サービス情報

(1) ロボット実証試験中の事故に備える保険（民間保険会社が販売）

(2) 福祉用具情報（公益財団法人テクノエイド協会が提供）

福祉用具情報提供システム / 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム / 福祉用具ヒヤリ・ハット情報

注1 詳細は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000209634.html>）

又は各組織のホームページにてご確認ください。

注2 掲載した情報のほか、自治体等による独自の支援も存在します。